

## 提案説明

### 【 市長提案説明 】

本日は、第2回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中、ご参集いただきましてまことにありがとうございます。

まずは、この場をお借りして、先般、教育委員会職員が万引きで逮捕された件について、議員の皆様をはじめ市民の皆様にお詫び申し上げたいと思います。

事実関係を調査の上、厳正に対処するとともに、今後、より一層、職員の綱紀肅正に取り組んでまいります。

定例会の開会に当たり、先月発生した、大津市の県道交差点で散歩中の保育園児が巻き込まれた交通事故、また、川崎市では、通学中の子どもたちが包丁を持った男に襲われるといった、大変痛ましい事件が発生し、多くの子どもたちが犠牲となりましたことに心から哀悼の意を表します。

このような事故・事件で、次の時代を担う子どもたちのかけがえのない命が奪われてしまうことはあってはなりません。

また、桑名市内においては、4月から5月にかけて、高齢者をターゲットとした特殊詐欺が市内で相次いで発生いたしました。

新たな時代を迎えた今、これまで以上に、子どもたちや高齢者はもちろんのこと、市民一人ひとりを社会全体で見守っていかなければならないと決意を新たに、警察、桑名地域生活安全協会や学校などの関係機関との連携強化を図り、地域の方々の協力も得ながら、通学や散歩など、日常生活の中での安全確保の徹底、不審者情報の共有や見守り活動、また、特殊詐欺の被害撲滅をはじめ各種防犯対策の推進など、安全で安心できる地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

さて、先月1日から30年以上続いた「平成」という時代が終わり、「令和」という新しい時代が幕を開けました。

これに合わせて戸籍・住民登録課では、婚姻届専用窓口を開設いたしましたところ、96組の方が婚姻届を提出されました。中には、1日の未明、また、当日の朝早くから多くの方がお見えになり、夜間窓口の増員や、窓口の増設、受付時間を早めるなどの対応をいたしました。また、パネルの前では幸せそうに記念撮影をされていく方も、多く見受けられました。

さて、「平成」の時代を振り返りますと、大規模な自然災害の発生、人口減少・高齢化社会への突入、AIに代表される新技術の急速な普及など、人々の生活や価値観が大きく変化した激動の時代でありました。

改元という大きな区切りを機に、本市におきましても新しい時代に対応するため、それに合わせて組織が対応、変化していく必要があります。まずは、大規模な自然災害などに備えて、防災・減災対策の強化を図るとともに、来るべき労働者人口の減少に対応していくため、AIなどを積極的に活用し、業務の自動化や省力化に取り組み、新しい時代に対応できる組織に転換していかなければならないと考えております。

また、私自身、このタイミングで市政を舵取りする立場として、気持ちも新たに、今まで以上にチャレンジしていく気持ちを持ちたいと考えております。

それでは、提出いたしました諸案件の説明に先立ちまして、国における景気の動向、現在の市の情勢等について、申し述べたいと存じます。

まず、景気の動向についてであります。

内閣府が5月に公表しました月例経済報告によりますと、景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。また、先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとしております。

また、2019年1月から3月期の実質GDPは、前期に比べ0.6%、年率換算で2.2%増となり、2018年10月から12月期以降、2四半期連続のプラス成長となっております。

雇用面においては、厚生労働省が発表した4月の有効求人倍率（季節調整値）は、三重県では1.73倍と全国平均1.63倍を上回り、年間を通して比較的安定した状況となっております。

本市におきましては、ここ数年外国人人口が増加するなか、入管法の改正に伴い、今後もさらなる増加が見込まれることから、今年度は、多文化共生社会の実現をさらに推進するため、新たな組織を設置し、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めております。

また、限られた職員数のなかで、業務効率の改善や働き方改革を進めるため、AIやRPAなどICTの活用に、引き続き、取り組んでいくとともに、高齢化社会の進展に伴う公共交通へのニーズが高まるなか、新たな交通ネットワークを検討するため、自動運転の実証実験を実施するなど、持続可能な形で、安定した住民サービスを提供し続けることに努めてまいりたいと思います。

このような状況の中、新しい時代への第一歩を踏み出すため、また、社会構造の変化にいち早く対応するため、現在、本市が取り組んでおります主な施策や財政状況等につきまして、その概要を申し述べたいと思います。

まずは、防災についてであります。

異常気象等により風水害が年々激甚化する中で、本格的な出水期を迎えるため、消防団員361名が参加のもと、先月5月26日に桑名市水防訓練を実施し、木曾川での洪水を想定した各種訓練を行いました。また、今年度は、伊勢湾台風60年を迎える年であり、7月には国土交通省木曾川下流河川事務所との共催による防災フェアを開催し、これに合わせた防災訓練も実施いたします。今後も、防災啓発・訓練等を重ねながら、防災力の強化や防災意識の向上に取り組んでまいります。

次に、教育環境の整備についてであります。

昨今の猛暑を受け、市内公立の小学校普通教室と幼稚園保育室へのエアコン設置工事を進めております。設置工事は、予定どおり進んでおり、今月6日には、大山田東小学校において、関係者立ち会いの下、試運転稼働式を行いました。なお、この工事は、今月10日までに約3分の2の小学校と幼稚園で設置、8月末までにすべてで設置し、2学期からは小学校普通教室と幼稚園保育室のすべてでエアコンが使える見込みとなりました。また、市内の小学校・中学校に学習用タブレット端末や校務用パソコンの導入などICT環境の整備も併せて進めており、引き続き子どもたちの快適な教育環境の実現に努めてまいります。

次に、地域創造プロジェクト（案）の推進についてであります。

このプロジェクトでは、市民の個性が活かせる地域コミュニティの実現のため、市民の皆様とともに進める基本戦略を策定し、これまでに意識の醸成を図るとともに、旧地区市民センター等をまちづくり拠点

とし、地域のまちづくりを進めるための場づくりや、地域住民による施設の活用を推進しているところです。

そのような中、城南まちづくり拠点施設内においては、健康増進や集いの場づくりを行い、地域が交流し、元気で活力ある健康なまちづくりを推進するため、3月21日に卓球カフェを開設しました。また、5月8日には、この卓球カフェが、自治体が住民向けに実施する事業として初めて、内閣官房創設の「beyond2020マイベストプログラム」に認証され、認証書の交付を受けたところです。

今後は、施設の活用を広げていくとともに、新たなまちづくりに対する機運が芽生えるよう、プロジェクトの更なる推進に向け取り組んでまいります。

次に、子育て支援についてであります。

行政と企業が連携し、商業施設の中に気軽に訪れ、多くの親子の交流や相談場所となるよう、平成29年12月にイオンモール桑名2番街に子育て支援センター「にこにこ」を既に開設いたしておりましたが、本年4月10日から子育て支援センターの一部屋を利用して、一時預かりも始めました。一時預かり開設により、買い物時や緊急時など、一時的に子どもを預けたい場合に、子どもたちが安全に過ごせる居場所を提供することができることとなります。

次に、桑名駅周辺の整備についてであります。

本市の玄関口としてふさわしい桑名駅となるよう、自由通路・橋上駅舎化整備、駅西土地区画整理事業、桑名駅周辺複合施設等整備事業に取り組んでおります。自由通路等整備につきましては、2020年秋頃の供用開始を目指し、現在、建物の鉄骨工事に着手しており、日に日に新しい桑名駅の完成に向け、工事が進んでおります。また、桑名駅西側では、桑名駅西口へのアクセス道路や駅前広場整備に向けた移転補償や工事等を順次進めております。なお、桑名駅周辺複合施設等整備事業につきましては、7月頃に募集要項を公表し、年度内には実施事業者を決定してまいります。

次に、本市の財政についてであります。

今年度まで合併算定替に伴う普通交付税の段階的な縮減があり、これまでの6年間は、目の前の予算を削減することに集中的に取り組んでまいりました。本年度は、予算のスリム化、財政調整基金の確保など、これまでの改革の成果が見える新しい予算のもとで無事、スタートを切ることができましたが、今後は、これまでの厳しい財政状況から先が見え始める次のフェーズへつなげる予算編成を進めてまいります。職員一人ひとりが“変わる”“変える”意識を持ち、力を合わせ、次の時代を見据えた改革にしっかり取り組んでいくとともに、新しい時代を過ごしていく市民の皆様の満足度をさらに高めていくことに努めてまいります。

最後に、総合計画の見直しについてであります。

桑名市総合計画における基本計画が、今年度で前期5年間の期間満了を迎えることから、これら主な事業を含め、現在、後期5年間の基本計画の策定作業を進めております。そこで、現在、私自身が直接現場に出向き、市民や関係団体の皆様と意見交換を実施させていただいております。新たな時代が始まった今、次の何十年先も見据えた改革を行っていくために、出来るだけ多くの方と接し、話を聞くことで、桑名市の将来を見据えた新たな発見や手がかりも見つけ出し、市民の皆様のニーズに対応したまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

それでは、今定例会に提案いたしました諸議案のうち、はじめに、予防接種事業費に係る補正予算の議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第53号「令和元年度一般会計補正予算（第2号）」につきましては、風しん感染拡大防止のため、

追加的対策として抗体保有率の低い世代の男性を対象として、実施する抗体検査・予防接種に係る費用を計上いたしました。

よろしくご審議いただきますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明及び報告は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。  
(会議録が正式な発言記録となります。)